

平成29年度

第7回市政モニターアンケート

暴力追放運動について

北九州市市民文化スポーツ局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) 市の相談窓口の認知度	2
(2) 市の暴力追放に向けた取組の認知度	3
(3) 活動内容の認知度	4
(4) 暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無	5
(5) 不当な要求を受けた場合の対応	6
(6) 不当な要求に応じる理由	7
(6) 不当な要求を受けた場合誰(どこ)に相談するか	8
(7) 暴力追放の住民運動への協力意向	9
(8) 暴力追放の住民運動に協力したくない理由	10
(9) 暴力団を利用してのもめごと処理についての考え	11
(10) 暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由	12
(11) 暴力団はどのようにして存在すると思うか	13
(12) 北九州のイメージについて	14
(13) 北九州市の暴力追放運動の取組について	15
(14) 暴力追放についての意見	16
IV 全体考察	17

I 調査の概要

調査対象者 市政モニター 149人

回答者数 130人(回収率87.2%)

調査実施日 平成29年 11月13日から 11月28日

実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査

調査実施課 市民文化スポーツ局 広聴課 TEL582-2527

調査依頼課 市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター TEL582-2427

II 市政モニターの構成

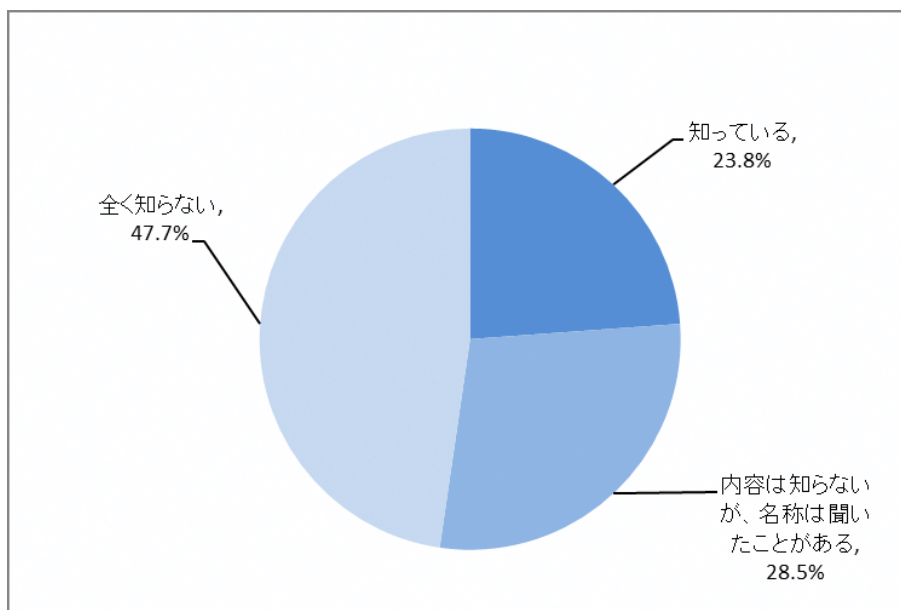


※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

※ 少数意見の詳細は個人の特定につながりかねないものであるため、公表は控えさせていただきます。

Ⅲ 調査結果

問1 市役所内に民事介入暴力の被害相談窓口が設置されていることを知っていますか。

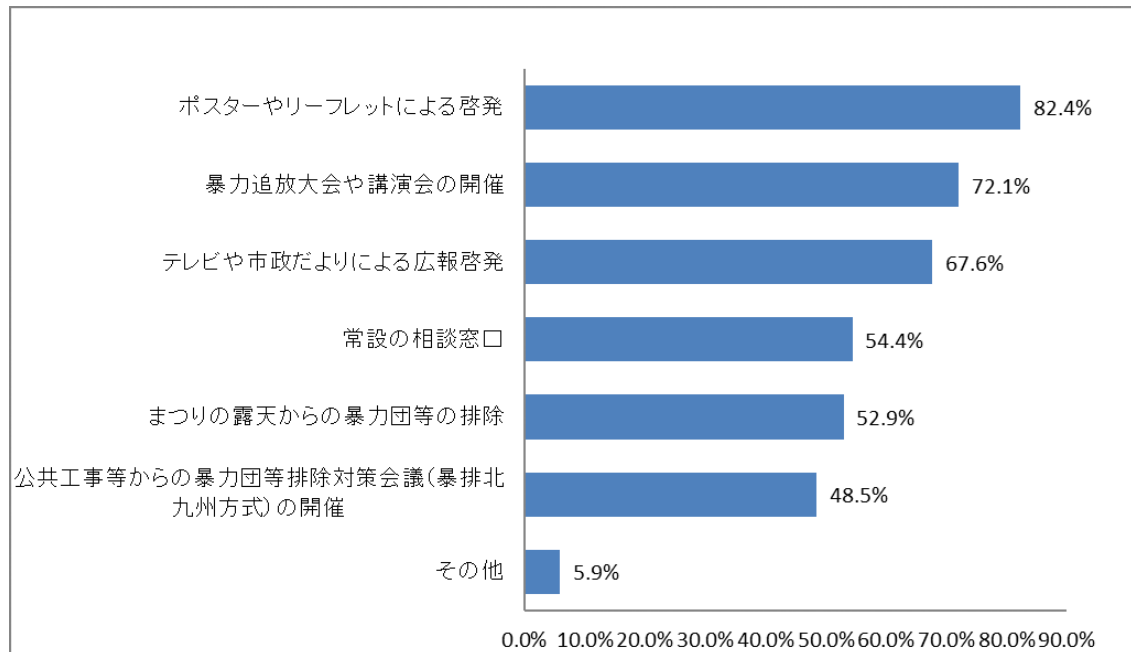


		回答者数	知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	全く知らない
全体		130人	23.8%	28.5%	47.7%
性別	男性	52人	36.5%	38.5%	25.0%
	女性	78人	15.4%	21.8%	62.8%
年齢別	10歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	15人	0.0%	20.0%	80.0%
	30歳代	20人	20.0%	15.0%	65.0%
	40歳代	23人	8.7%	21.7%	69.6%
	50歳代	21人	23.8%	42.9%	33.3%
	60歳代	28人	42.9%	21.4%	35.7%
	70歳以上	22人	36.4%	45.5%	18.2%
区別	門司区	12人	16.7%	25.0%	58.3%
	小倉北区	24人	37.5%	16.7%	45.8%
	小倉南区	31人	29.0%	32.3%	38.7%
	若松区	12人	25.0%	25.0%	50.0%
	八幡東区	11人	9.1%	54.5%	36.4%
	八幡西区	32人	15.6%	28.1%	56.3%
	戸畑区	8人	25.0%	25.0%	50.0%

「知っている」「名称は聞いたことがある」の合計は 52.3%だった。「全く知らない」が 47.7%で、年代別では20歳代から40歳代が 60%以上と認知度が低かった。

問2 <問1で「1」、「2」いずれかを答えた方におたずねします。>

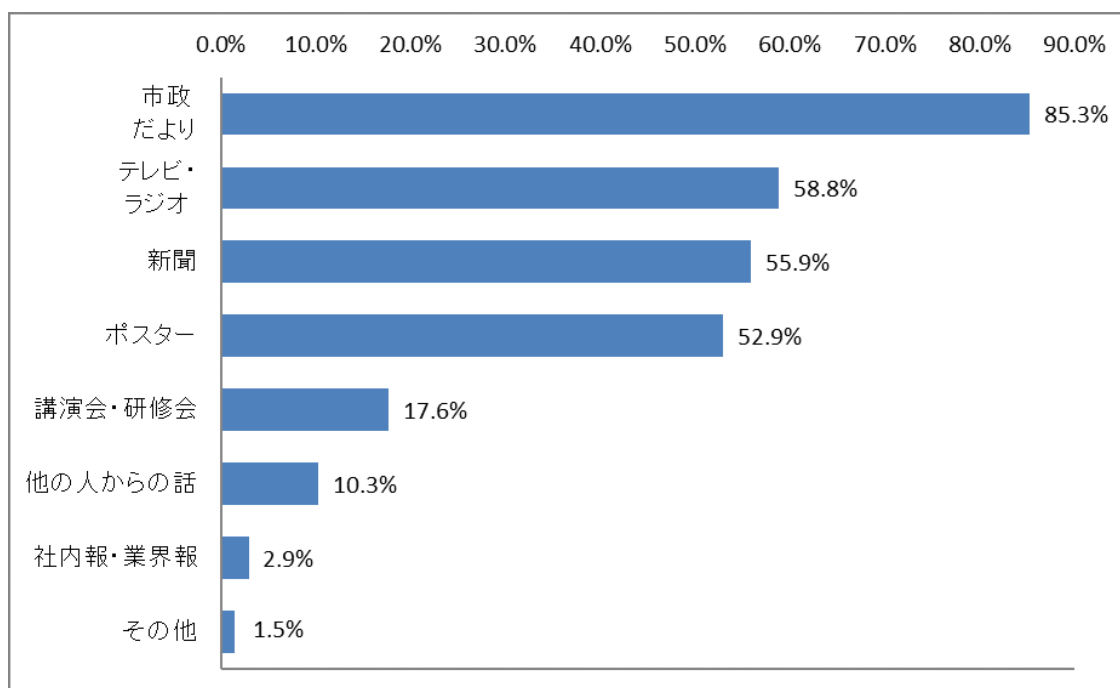
2-1 市の暴力追放に向けた取り組みの中で、知っているものをいくつでも選んでください。



	回答者数	ポスターやリーフレットによる啓発	暴力追放大会や講演会の開催	テレビや市政だよりによる広報啓発	常設の相談窓口	まつりの露天からの暴力団等の排除	公共工事等からの暴力団等排除対策会議(暴排北九州方式)の開催	その他	
全体	68人	82.4%	72.1%	67.6%	54.4%	52.9%	48.5%	5.9%	
性別	男性	39人	84.6%	74.4%	71.8%	61.5%	48.7%	56.4%	2.6%
	女性	29人	79.3%	69.0%	62.1%	44.8%	58.6%	37.9%	10.3%
年齢別	10歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	3人	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	30歳代	7人	71.4%	71.4%	71.4%	42.9%	57.1%	42.9%	0.0%
	40歳代	7人	100.0%	71.4%	71.4%	57.1%	28.6%	14.3%	28.6%
	50歳代	14人	78.6%	57.1%	57.1%	50.0%	50.0%	35.7%	7.1%
	60歳代	18人	88.9%	66.7%	77.8%	61.1%	44.4%	55.6%	5.6%
	70歳以上	18人	83.3%	88.9%	72.2%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
区別	門司区	5人	100.0%	60.0%	60.0%	20.0%	100.0%	80.0%	20.0%
	小倉北区	13人	76.9%	76.9%	61.5%	84.6%	38.5%	46.2%	7.7%
	小倉南区	19人	78.9%	63.2%	63.2%	63.2%	57.9%	36.8%	5.3%
	若松区	6人	100.0%	83.3%	83.3%	16.7%	50.0%	50.0%	0.0%
	八幡東区	7人	71.4%	85.7%	71.4%	28.6%	57.1%	28.6%	0.0%
	八幡西区	14人	85.7%	64.3%	71.4%	57.1%	42.9%	57.1%	0.0%
	戸畑区	4人	75.0%	100.0%	75.0%	50.0%	50.0%	75.0%	25.0%

1位の「ポスターやリーフレットによる啓発」と2位の「暴力追放大会や講演会の開催」は前回調査と同様に多かった。

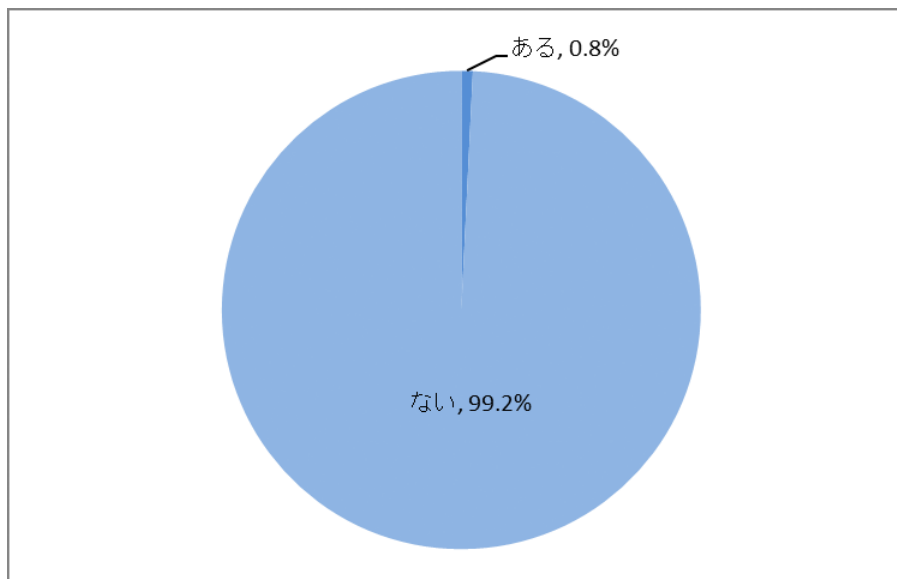
2-2 あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	市政だより	テレビ・ラジオ	新聞	ポスター	講演会・研修会	他の人からの話	社内報・業界報	その他
全体		68人	85.3%	58.8%	55.9%	52.9%	17.6%	10.3%	2.9%	1.5%
性別	男性	39人	89.7%	64.1%	64.1%	48.7%	20.5%	7.7%	2.6%	2.6%
	女性	29人	79.3%	51.7%	44.8%	58.6%	13.8%	13.8%	3.4%	0.0%
年齢別	10歳代	1人	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	3人	33.3%	66.7%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	7人	71.4%	42.9%	28.6%	85.7%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	40歳代	7人	85.7%	71.4%	42.9%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%
	50歳代	14人	92.9%	35.7%	35.7%	71.4%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
	60歳代	18人	83.3%	61.1%	66.7%	50.0%	5.6%	5.6%	5.6%	5.6%
	70歳以上	18人	100.0%	72.2%	77.8%	38.9%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%
区別	門司区	5人	100.0%	60.0%	80.0%	80.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	13人	84.6%	53.8%	30.8%	61.5%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%
	小倉南区	19人	84.2%	52.6%	63.2%	42.1%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%
	若松区	6人	100.0%	83.3%	33.3%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	八幡東区	7人	85.7%	42.9%	57.1%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	14人	85.7%	64.3%	64.3%	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%
	戸畑区	4人	50.0%	75.0%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%

「市政だより」と回答した人が1位で 85.3%、続いて2位が「テレビ・ラジオ」の 58.8%、「新聞」が3位で 55.9%と前回調査と同じ順位だった。

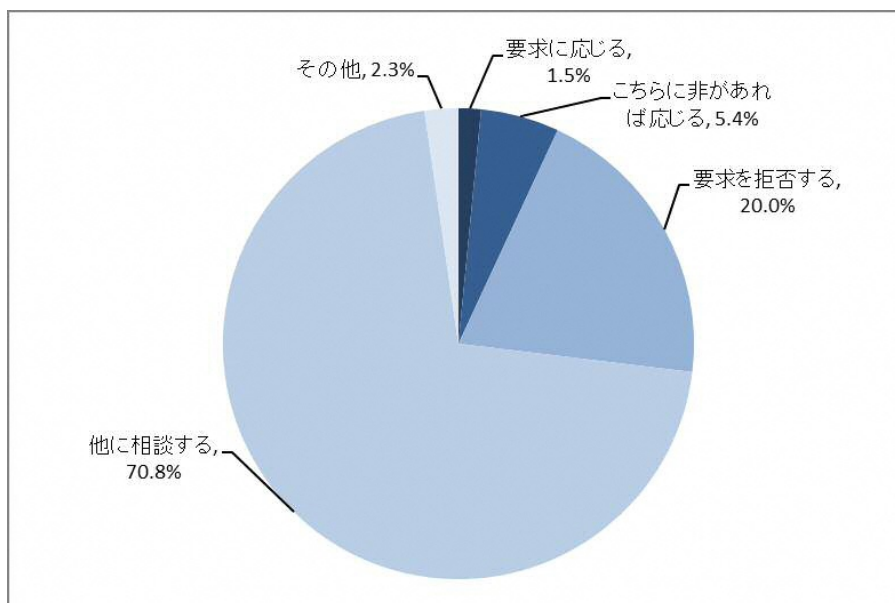
問3 あなた自身やあなたの家族・会社が、過去2年間に北九州市内において暴力団から「ゆすり」「たかり」など、不当な要求を受けたことがありますか。また、受けたことがある方は、いつ頃ですか。



		回答者数	ある	ない
全体		130人	0.8%	99.2%
性別	男性	52人	0.0%	100.0%
	女性	78人	1.3%	98.7%
年齢別	10歳代	1人		
	20歳代	15人		
	30歳代	20人		
	40歳代	23人		
	50歳代	21人		
	60歳代	28人		
	70歳以上	22人		
区別	門司区	12人		
	小倉北区	24人		
	小倉南区	31人		
	若松区	12人		
	八幡東区	11人		
	八幡西区	32人		
	戸畑区	8人		

「ない」が99.2%だったが、0.8%は不当な要求を受けた経験があった。

問4 あなたは暴力団などから不当な要求があった場合、どのように対応しますか。1つだけ選んでください。



		回 答 者 数	要求に応じる	要求が過少であれば応じる	こちらに非があれば応じる	要求を拒否する	他に相談する	その他
全体		130人	1.5%	0.0%	5.4%	20.0%	70.8%	2.3%
性別	男性	52人	0.0%	0.0%	5.8%	30.8%	61.5%	1.9%
	女性	78人	2.6%	0.0%	5.1%	12.8%	76.9%	2.6%
年齢別	10歳代	1人						
	20歳代	15人						
	30歳代	20人						
	40歳代	23人						
	50歳代	21人						
	60歳代	28人						
	70歳以上	22人						
区別	門司区	12人						
	小倉北区	24人						
	小倉南区	31人						
	若松区	12人						
	八幡東区	11人						
	八幡西区	32人						
	戸畑区	8人						

1位の「他に相談する」が70.8%で、2位の「要求を拒否する」が20.0%だった。「こちらに非があれば応じる」が5.4%、「要求に応じる」が1.5%だった。

<問5は、問4で「1 要求に応じる」と答えた方におたずねします>

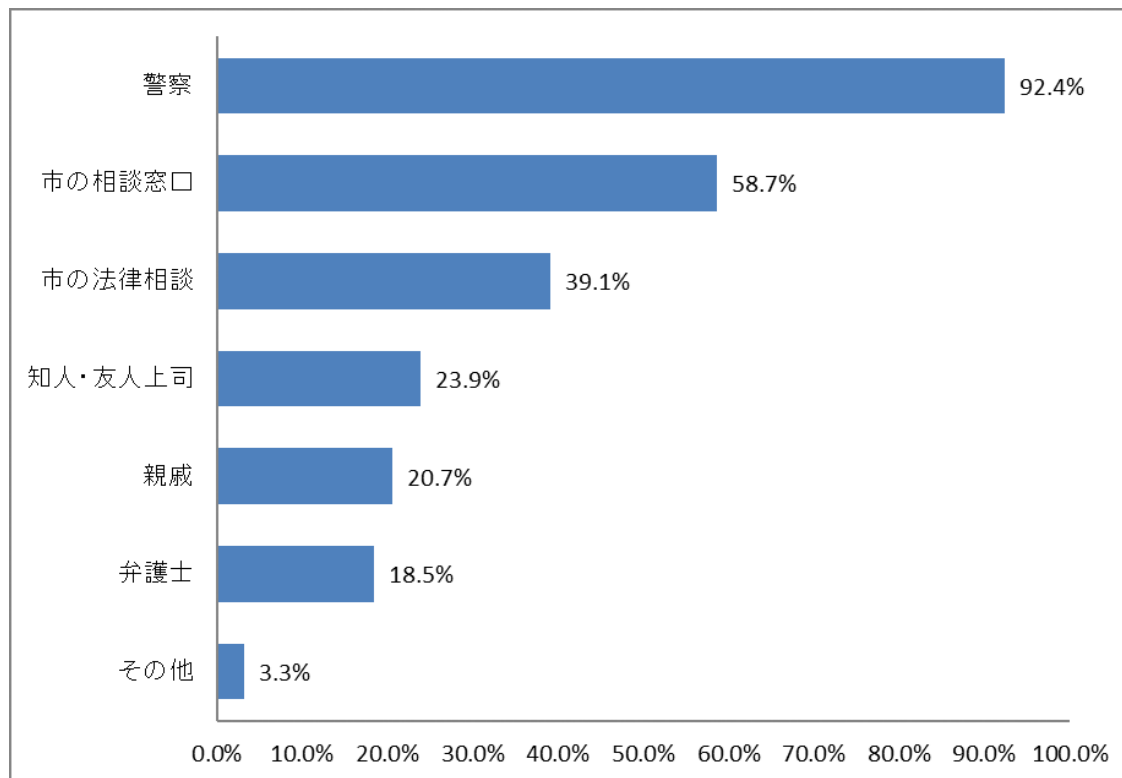
問5 要求に応じるのは何故ですか。1つだけ選んでください。

		回 者	答 数	恐 い か ら	関 わ り を も つ の が 面 倒 だ か ら	相 談 す る と こ ろ が な い か ら	前 に も 応 じ て 、 断 る の が 困 難	対 応 に 不 慣 れ だ か ら	そ の 他
全体		2人		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
性別	男性	0人		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	2人		50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
年齢別	10歳代								
	20歳代								
	30歳代								
	40歳代								
	50歳代								
	60歳代								
	70歳以上								
区別	門司区								
	小倉北区								
	小倉南区								
	若松区								
	八幡東区								
	八幡西区								
	戸畑区								

「要求に応じる」と回答した理由は、「恐いから」と「前にも応じて、断るのが困難」だった。

<問6は、問4で「5他に相談する」と答えた方におたずねします>

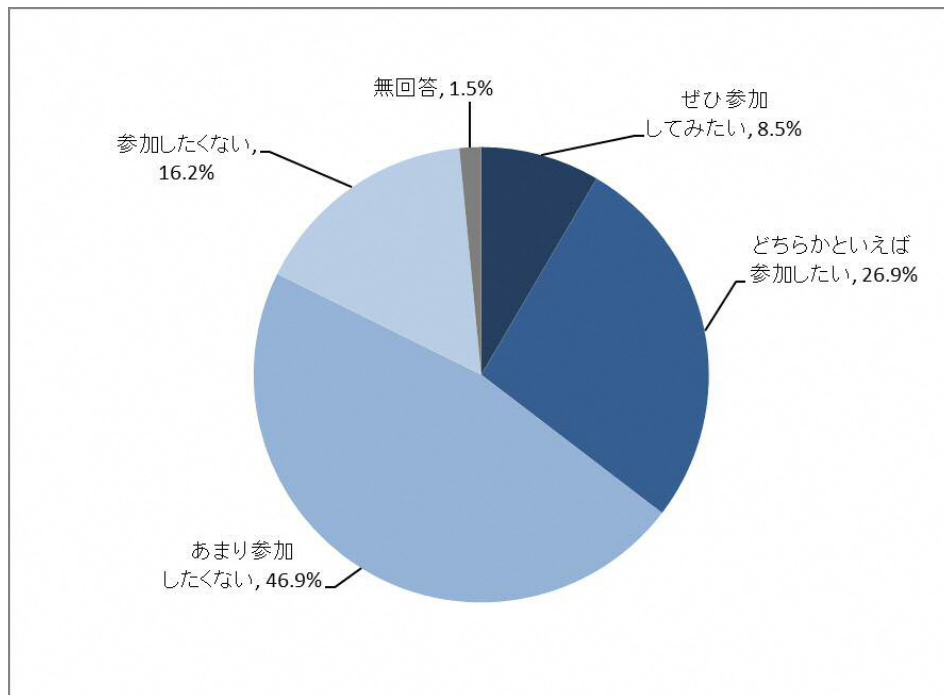
問6 そのことを誰(どこ)に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	警察	市の相談窓口	市の法律相談	知人・友人上司	親戚	弁護士	その他
全体		92人	92.4%	58.7%	39.1%	23.9%	20.7%	18.5%	3.3%
性別	男性	32人	96.9%	71.9%	34.4%	12.5%	9.4%	15.6%	3.1%
	女性	60人	90.0%	51.7%	41.7%	30.0%	26.7%	20.0%	3.3%
年齢別	10歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	9人	77.8%	66.7%	44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%
	30歳代	15人	93.3%	33.3%	20.0%	33.3%	33.3%	26.7%	0.0%
	40歳代	20人	95.0%	35.0%	45.0%	20.0%	25.0%	35.0%	5.0%
	50歳代	13人	100.0%	61.5%	69.2%	30.8%	7.7%	0.0%	7.7%
	60歳代	18人	88.9%	66.7%	22.2%	27.8%	11.1%	16.7%	5.6%
	70歳以上	16人	100.0%	93.8%	43.8%	18.8%	18.8%	6.3%	0.0%
区別	門司区	8人	62.5%	25.0%	50.0%	25.0%	12.5%	37.5%	0.0%
	小倉北区	14人	100.0%	64.3%	35.7%	28.6%	21.4%	14.3%	0.0%
	小倉南区	22人	95.5%	72.7%	40.9%	18.2%	18.2%	13.6%	9.1%
	若松区	9人	100.0%	44.4%	22.2%	55.6%	33.3%	33.3%	0.0%
	八幡東区	9人	88.9%	44.4%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%
	八幡西区	24人	95.8%	66.7%	45.8%	12.5%	16.7%	25.0%	4.2%
	戸畑区	6人	83.3%	50.0%	50.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%

「警察」と答えた人が 92.4%で前回調査と同じ1位。「市の相談窓口」も 58.7%と前回同様の2位であった。

問7 現在、県警察や市などの主催により、市内各地で暴力追放大会や暴追パレードが開催されていますが、あなたは参加する時間があるとした場合に、このような活動に参加することについてどのようにお考えですか。

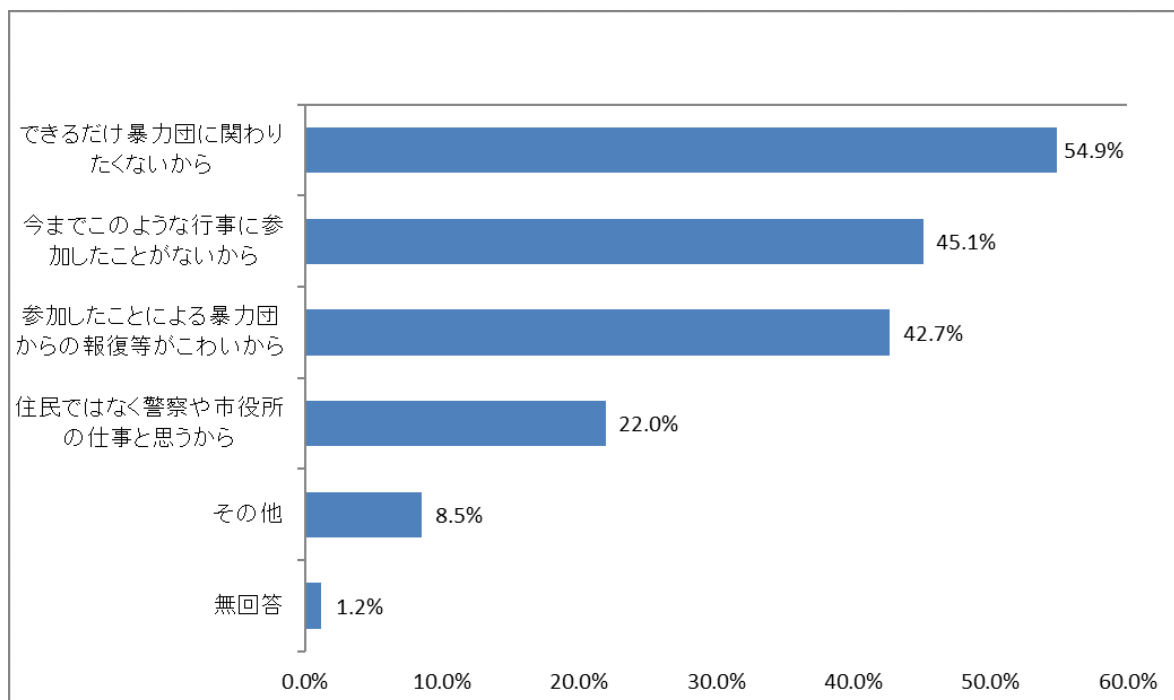


		回答者数	ぜひ参加してみたい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答
全体		130人	8.5%	26.9%	46.9%	16.2%	1.5%
性別	男性	52人	11.5%	36.5%	38.5%	11.5%	1.9%
	女性	78人	6.4%	20.5%	52.6%	19.2%	1.3%
年齢別	10歳代	1人	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	15人	0.0%	26.7%	53.3%	20.0%	0.0%
	30歳代	20人	5.0%	20.0%	45.0%	30.0%	0.0%
	40歳代	23人	13.0%	0.0%	52.2%	34.8%	0.0%
	50歳代	21人	9.5%	23.8%	61.9%	4.8%	0.0%
	60歳代	28人	3.6%	46.4%	39.3%	3.6%	7.1%
	70歳以上	22人	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%	0.0%
区別	門司区	12人	0.0%	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%
	小倉北区	24人	4.2%	20.8%	58.3%	16.7%	0.0%
	小倉南区	31人	12.9%	32.3%	41.9%	9.7%	3.2%
	若松区	12人	0.0%	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%
	八幡東区	11人	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%
	八幡西区	32人	12.5%	28.1%	40.6%	15.6%	3.1%
	戸畑区	8人	12.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%

「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が 35.4%と半数以下だった。また、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は 63.1%だった。

<問8は、問7で「3 あまり参加したくない」又は「4 参加したくない」と答えた方におたずねします>

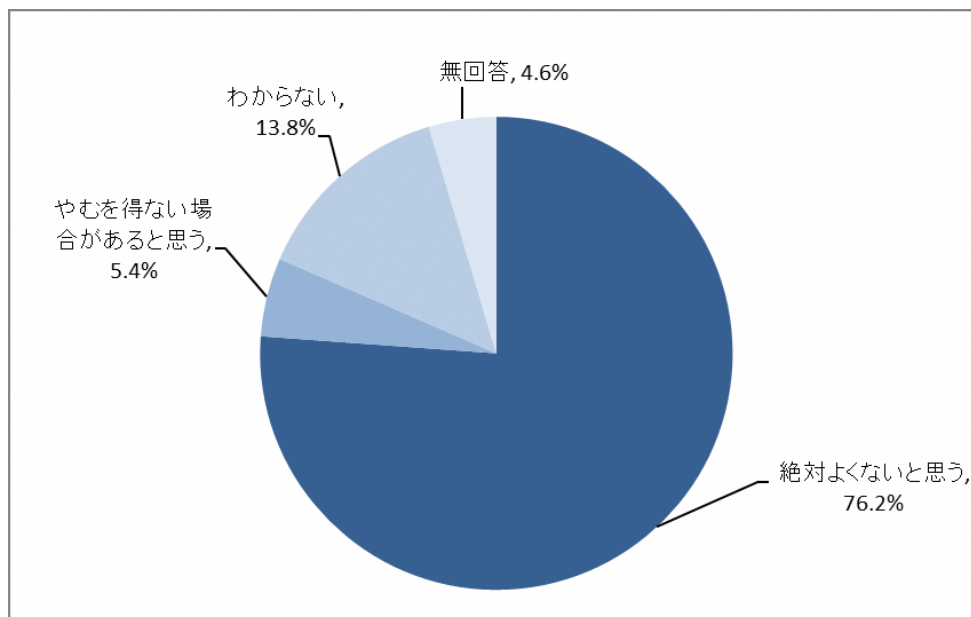
問8 その理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	できるだけ暴力団に関わりたくないから	今までこのような行事に参加したことがないから	参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから	住民ではなく警察や市役所の仕事と思うから	その他	無回答
全体		82人	54.9%	45.1%	42.7%	22.0%	8.5%	1.2%
性別	男性	26人	53.8%	46.2%	38.5%	26.9%	3.8%	0.0%
	女性	56人	55.4%	44.6%	44.6%	19.6%	10.7%	1.8%
年齢別	10歳代	0人	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	11人	90.9%	18.2%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
	30歳代	15人	60.0%	53.3%	46.7%	13.3%	13.3%	0.0%
	40歳代	20人	40.0%	40.0%	65.0%	30.0%	10.0%	0.0%
	50歳代	14人	35.7%	57.1%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%
	60歳代	12人	66.7%	58.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%
	70歳以上	10人	50.0%	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%
区別	門司区	10人	40.0%	50.0%	40.0%	30.0%	20.0%	0.0%
	小倉北区	18人	50.0%	55.6%	38.9%	38.9%	11.1%	0.0%
	小倉南区	16人	50.0%	37.5%	37.5%	12.5%	18.8%	6.3%
	若松区	8人	75.0%	25.0%	87.5%	37.5%	0.0%	0.0%
	八幡東区	8人	12.5%	75.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	18人	88.9%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	4人	25.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

「できるだけ暴力団に関わりたくないから」が 54.9%と一番多く、次いで「今までこのような行事に参加したことがないから」が 45.1%で、「暴力団からの報復等がこわいから」が 42.7%だった。

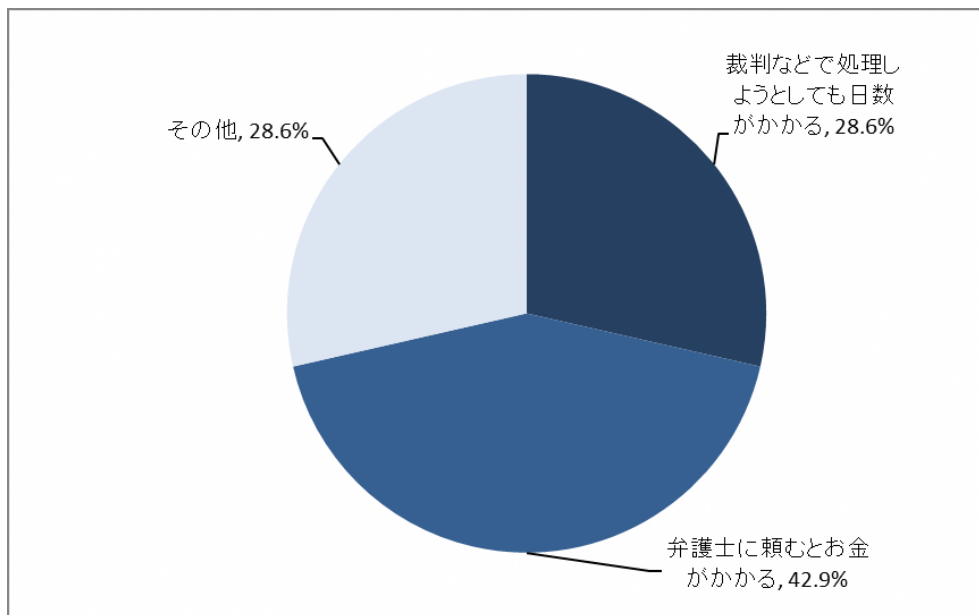
問9 暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。



		回答者数	絶対よくないと思う	やむを得ない場合があると思う	悪くはないと思う	わからない	無回答
全体		130人	76.2%	5.4%	0.0%	13.8%	4.6%
性別	男性	52人	76.9%	3.8%	0.0%	11.5%	7.7%
	女性	78人	75.6%	6.4%	0.0%	15.4%	2.6%
年齢別	10歳代	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	15人	80.0%	0.0%	0.0%	13.3%	6.7%
	30歳代	20人	75.0%	5.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	40歳代	23人	78.3%	0.0%	0.0%	17.4%	4.3%
	50歳代	21人	71.4%	9.5%	0.0%	14.3%	4.8%
	60歳代	28人	78.6%	3.6%	0.0%	14.3%	3.6%
	70歳以上	22人	72.7%	13.6%	0.0%	4.5%	9.1%
区別	門司区	12人	83.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
	小倉北区	24人	75.0%	8.3%	0.0%	12.5%	4.2%
	小倉南区	31人	74.2%	6.5%	0.0%	12.9%	6.5%
	若松区	12人	91.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	八幡東区	11人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	32人	59.4%	6.3%	0.0%	25.0%	9.4%
	戸畑区	8人	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%

「絶対によくないと思う」が 76.2%と一番多く、「悪くないと思う」は 0%だった。

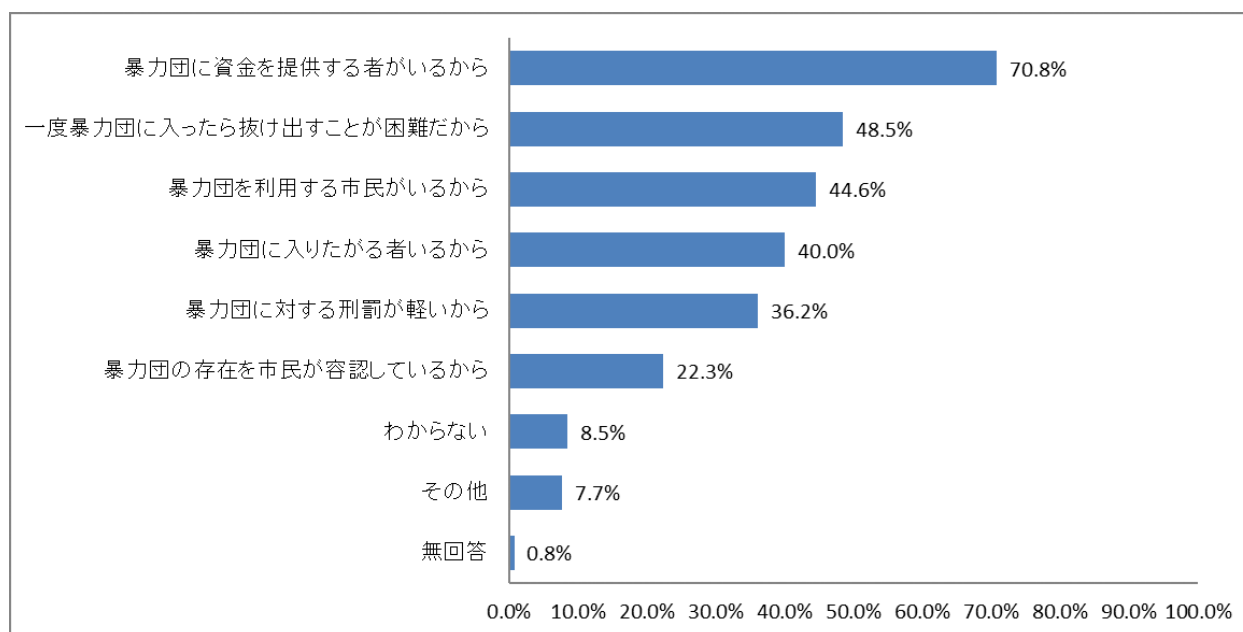
<問10は、問9で「2 やむを得ない場合があると思う」又は「3 悪くはないと思う」と答えた方におたずねします>
 問10 そう思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。



		回答者数	裁判などで処理しようとしても日数がかかる	弁護士に頼むとお金がかかる	特に悪いこととは思わない	問題がうまく解決するならかまわない	その他
全体		7人	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%
性別	男性	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	5人	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%
年齢別	10歳代						
	20歳代						
	30歳代						
	40歳代						
	50歳代						
	60歳代						
	70歳以上						
区別	門司区						
	小倉北区						
	小倉南区						
	若松区						
	八幡東区						
	八幡西区						
	戸畑区						

回答した7人の中で、「弁護士に頼むとお金がかかる」が42.9%と一番多かった。

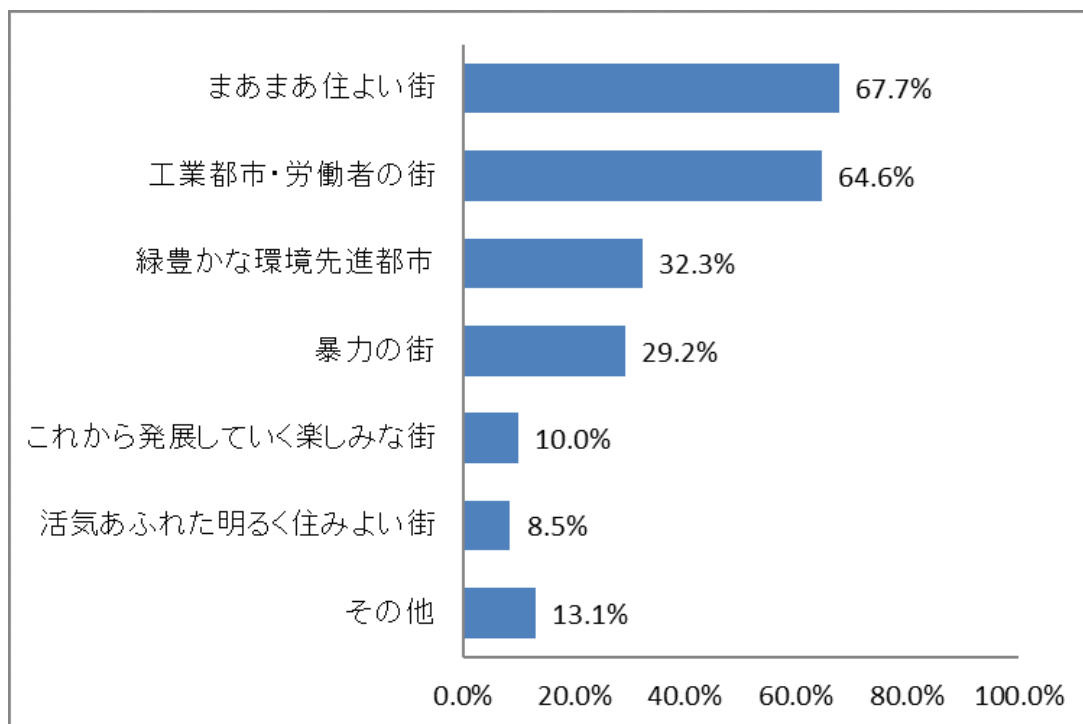
問11 あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	暴力団に資金を提供する者がいるから	一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから	暴力団を利用する市民がいるから	暴力団に入りたがる者いるから	暴力団に対する刑罰が軽いから	暴力団の存在を市民が容認しているから	わからない	その他	無回答
全体		130人	70.8%	48.5%	44.6%	40.0%	36.2%	22.3%	8.5%	7.7%	0.8%
性別	男性	52人	73.1%	50.0%	51.9%	40.4%	46.2%	21.2%	1.9%	7.7%	0.0%
	女性	78人	69.2%	47.4%	39.7%	39.7%	29.5%	23.1%	12.8%	7.7%	1.3%
年齢別	10歳代	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	20歳代	15人	73.3%	46.7%	13.3%	13.3%	6.7%	33.3%	13.3%	6.7%	0.0%
	30歳代	20人	70.0%	55.0%	30.0%	30.0%	55.0%	15.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	40歳代	23人	69.6%	43.5%	56.5%	52.2%	26.1%	21.7%	4.3%	8.7%	0.0%
	50歳代	21人	61.9%	47.6%	57.1%	38.1%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	4.8%
	60歳代	28人	67.9%	46.4%	50.0%	50.0%	50.0%	25.0%	10.7%	10.7%	0.0%
	70歳以上	22人	81.8%	54.5%	50.0%	45.5%	59.1%	22.7%	4.5%	4.5%	0.0%
区別	門司区	12人	58.3%	50.0%	25.0%	50.0%	16.7%	50.0%	8.3%	16.7%	0.0%
	小倉北区	24人	70.8%	54.2%	58.3%	37.5%	33.3%	20.8%	8.3%	0.0%	0.0%
	小倉南区	31人	83.9%	51.6%	45.2%	35.5%	48.4%	22.6%	6.5%	6.5%	3.2%
	若松区	12人	66.7%	66.7%	33.3%	58.3%	33.3%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%
	八幡東区	11人	72.7%	27.3%	63.6%	36.4%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%
	八幡西区	32人	56.3%	40.6%	40.6%	31.3%	43.8%	21.9%	12.5%	12.5%	0.0%
	戸畑区	8人	100.0%	50.0%	37.5%	62.5%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%

「暴力団に資金を提供する者がいるから」が半数以上の 70.8%で、次いで「抜け出すことが困難だから」「利用する市民がいるから」「入りたがる者がいるから」が 40%以上と多かった。

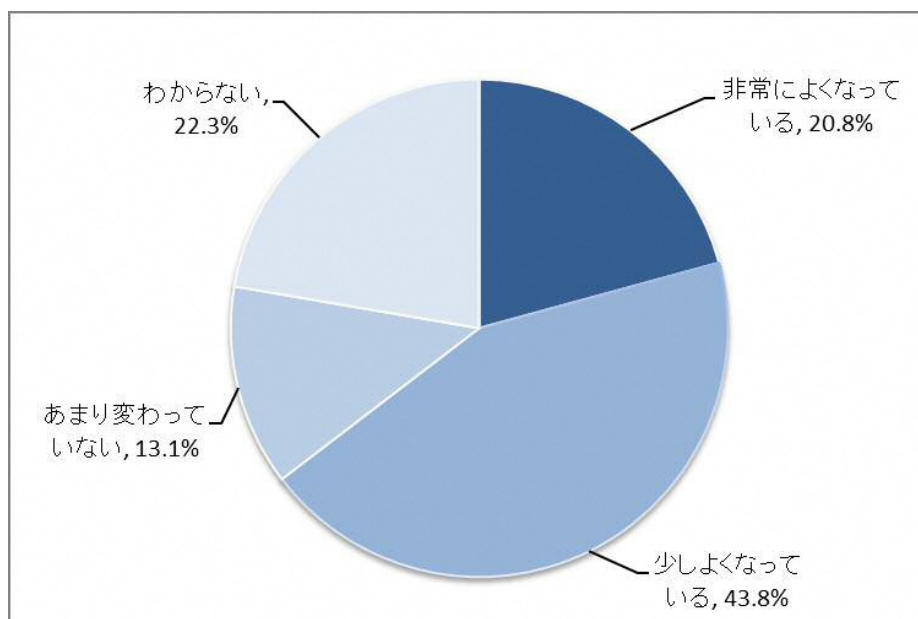
問12 あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	まあまあ住よい街	工業都市・労働者の街	緑豊かな環境先進都市	暴力の街	これから発展していく楽しみな街	活気あふれた明るく住みよい街	その他
全体		130人	67.7%	64.6%	32.3%	29.2%	10.0%	8.5%	13.1%
性別	男性	52人	59.6%	69.2%	40.4%	28.8%	11.5%	9.6%	3.8%
	女性	78人	73.1%	61.5%	26.9%	29.5%	9.0%	7.7%	19.2%
年齢別	10歳代	1人	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代	15人	60.0%	53.3%	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%
	30歳代	20人	75.0%	50.0%	45.0%	35.0%	5.0%	20.0%	20.0%
	40歳代	23人	60.9%	65.2%	30.4%	43.5%	8.7%	4.3%	26.1%
	50歳代	21人	81.0%	57.1%	28.6%	28.6%	9.5%	0.0%	14.3%
	60歳代	28人	53.6%	85.7%	32.1%	21.4%	7.1%	14.3%	3.6%
	70歳以上	22人	77.3%	63.6%	36.4%	22.7%	22.7%	9.1%	4.5%
区別	門司区	12人	41.7%	50.0%	33.3%	25.0%	16.7%	25.0%	33.3%
	小倉北区	24人	58.3%	62.5%	29.2%	20.8%	16.7%	8.3%	8.3%
	小倉南区	31人	77.4%	64.5%	45.2%	25.8%	9.7%	16.1%	16.1%
	若松区	12人	75.0%	58.3%	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%	16.7%
	八幡東区	11人	81.8%	72.7%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%	18.2%
	八幡西区	32人	65.6%	65.6%	15.6%	31.3%	9.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	8人	75.0%	87.5%	25.0%	50.0%	0.0%	12.5%	25.0%

「まあまあ住よい街」が 67.7%で前回調査同様の1位となった。また、「暴力の街」は前回調査の 32.1%から 29.2%に減少した。

問13 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取り組んでいますが、以前と比べて変わったと思いますか。



		回答者数	非常によくなっている	少しよくなっている	あまり変わっていない	悪くなっている	わからない
全体		130人	20.8%	43.8%	13.1%	0.0%	22.3%
性別	男性	52人	25.0%	42.3%	19.2%	0.0%	13.5%
	女性	78人	17.9%	44.9%	9.0%	0.0%	28.2%
年齢別	10歳代	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20歳代	15人	6.7%	26.7%	26.7%	0.0%	40.0%
	30歳代	20人	10.0%	50.0%	10.0%	0.0%	30.0%
	40歳代	23人	17.4%	47.8%	13.0%	0.0%	21.7%
	50歳代	21人	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%
	60歳代	28人	25.0%	50.0%	14.3%	0.0%	10.7%
	70歳以上	22人	27.3%	40.9%	4.5%	0.0%	27.3%
区別	門司区	12人	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%
	小倉北区	24人	25.0%	45.8%	8.3%	0.0%	20.8%
	小倉南区	31人	35.5%	35.5%	9.7%	0.0%	19.4%
	若松区	12人	16.7%	33.3%	25.0%	0.0%	25.0%
	八幡東区	11人	18.2%	54.5%	9.1%	0.0%	18.2%
	八幡西区	32人	9.4%	46.9%	15.6%	0.0%	28.1%
	戸畑区	8人	12.5%	50.0%	12.5%	0.0%	25.0%

「よくなっている」の合計が64.6%で、全体の6割以上を占めており、「悪くなっている」は前回調査と同様の0%だった。

問14 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

59件の記入があり、主なものは次のとおりです。

【北九州市の現状について】

- 普通に生活している中でそういう暴力団系の人との関わりはないので身の危険という不安はありません。10年程前は小倉で夜、目にしたり初詣に行った際見かけたりしましたが今は、まったくなくなりました。やはりそういう点では警察の方の活動のおかげだと感じています。
- 自分の近くで暴力団等を見かける事もなく、平和な日々が過ごせているのも暴力追放運動等のお陰なのかと感じています。
- 工藤會がいなくなったとしても、他暴力団組織が北九州に入り込まないかが心配です。

【暴力追放に向けた要望について】

- 暮らしている私達からすると住み良い町ですが、他の県に住んでいる人からはやくざが多い町、危ない町というイメージが強いように感じます。とても悲しいです。市が追放運動をもっと、他県にも知らせていく活動をしてイメージを少しずつでも良くして欲しい。
- 新聞やテレビ等のメディアから北九州市が暴力追放運動に取り組むニュースをよく目にしますが、実際にどのような取組をしているのか、その実体を知る人は少ないように思います。北九州市＝“暴力団が多いまち”という認識が少なからず未だあると思うので、市民の方、全国の方にまずは「どういう取組をし実績があるのかを熟知できる物」を作っていく必要があると感じます。
- 北九州市は、暴力団のイメージが強い。これから、少しでも薄くなってほしいなあと思います。北九州市の印象も、さらに明るくなる気がします。

【暴力追放に関する意見について】

- 暴力団の上級幹部の検挙も必要ですが、組織として存続できないようにさせるためには、青少年への教育（学校での警察による講演等）を充当させることで“新規入団を防ぐ”ことも大切だと考えます。
- 数年前に暴力団による発砲事件があったが、どうせつかまらないのだろうと思っていたら、今年になって容疑者逮捕のニュースがあった。ここ数年での警察の暴力団壊滅への意気込みが感じられると思った。
暴力団を抜きたい人も多くいて、警察がその手助けをしているニュースもあり、それは確実に暴力追放へ繋がると思った。暴力団被害の市の相談窓口相談する人がどのくらいいるのでしょうか？私は聞いた事もなし、具体的にどういう事してくれるのかよくわからないし、とりあえず警察に相談する方が早いのではと思います。
- 市民1人ひとりの根気と勇気が大切だと思います。
- 暴力団を脱退した後の受け皿（住まい、就職）を作ること。例えば、専門職の配置をして、スムーズに就職できる体制づくり。このまま手をゆるめず、徹底した警備をつづける。他都道府県警の応援は心強かった。北九州市は暴追に関する事を契約事項にうたったり、関わりがあると指定の取消しをするような条項が入っているのよい。

IV 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気楽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設した。さらに平成25年4月1日、組織改変により交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者相談、生活環境パトロールを統合して、安全・安心相談センターが発足した。

また、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、平成25年6月1日には、暴力団排除に立ち上がり、また立ち上がろうとする事業者を保護するため、特定の事業者に対する暴力団の不当な影響を排除するための措置が追加規定された「改正福岡県暴力団排除条例」が施行され、本市でも平成22年7月に市民が安心して暮らせる社会の実現、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところである。

このアンケートは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに生かすため実施した。

【市の相談窓口の認知度について】

○ 市の相談窓口の認知度では52.3%で前回調査の平成27年度の46.4%から増加し、半数以上となった。暴力追放に向けた取組については、「ポスターやリーフレットによる啓発」「暴力追放大会や講演会の開催」「テレビや市政だよりによる広報啓発」が前回調査同様に上位を占めた。

【不当な要求を受けた場合について】

○ 暴力団から不当な要求を仮に不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が70.8%と圧倒的に多く、次いで「要求を拒否する」が20.0%であった。また、相談相手は「警察」92.4%、「市の相談窓口」58.7%が前回調査同様に高くなっており、身の回りの人より、行政機関を優先する意見が多かった。

【暴力追放の住民運動について】

○ 暴力団追放の住民運動への参加意識では、「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が半数以下の35.4%で、「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は63.1%だった。また、参加したくない理由は、「できるだけ暴力団に関わりたくないから」が54.9%と一番多く、次いで「今までこのような行事に参加したことがないから」が45.1%、「暴力団からの報復等がこわいから」が42.7%で、暴力団の存在を恐れる意見が多くを占めた。

【暴力団を利用してのもめごと処理について】

○ もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が半数以上の76.2%で、「悪くないと思う」との暴力団を肯定する意見はなかった。

【暴力団の存在について】

○ 暴力団の存在については、「暴力団に資金を提供する者がいるから」が半数以上の70.8%、次いで「抜け出すことが困難だから」「利用する市民がいるから」「入りたがる者がいるから」が40%以上と上位を占めた。

【北九州のイメージについて】

○ 都市イメージの項目は「まあまあ住みよい街」が67.7%で前回調査同様の1位となっているが、「暴力の街」との回答が29.2%と前回調査に引き続き3割近くあった。

【暴力追放運動の取組について】

○ 暴力追放運動の取組については、以前と比べて「非常によくなっている」が20.8%、「少しよくなっている」が43.8%とよくなっているとの意見が合計64.6%で、半数以上だった。また、「悪くなっている」は前回調査同様に0%であり、本市の暴力追放運動は着実に前進していることがうかがえる。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局 広聴課 (TEL: 582-2527)

【アンケートに関すること】

市民文化スポーツ局 安全・安心相談センター (TEL: 582-2427)